

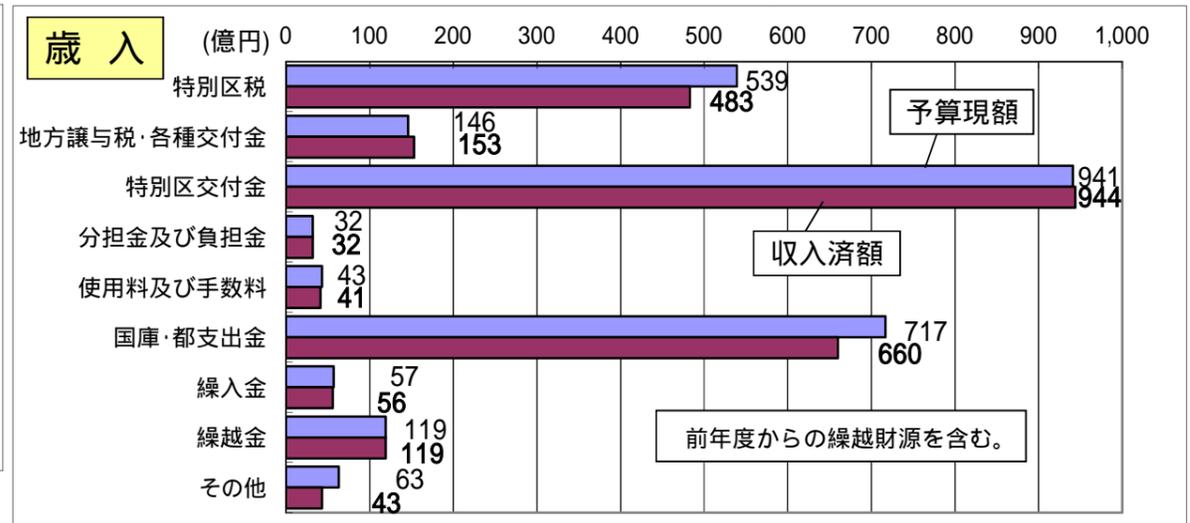
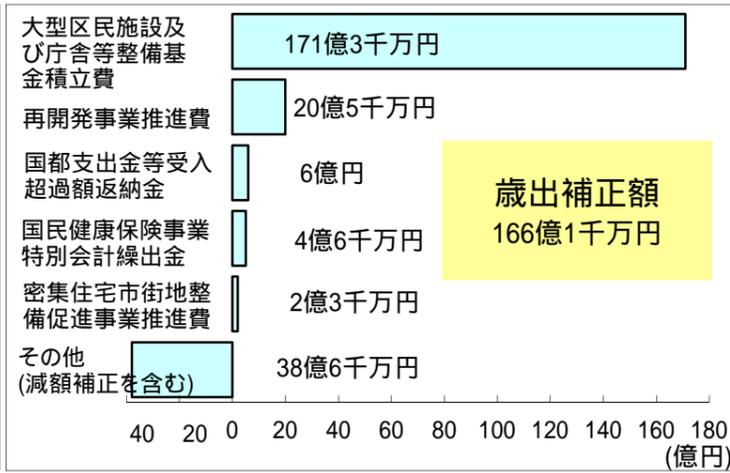
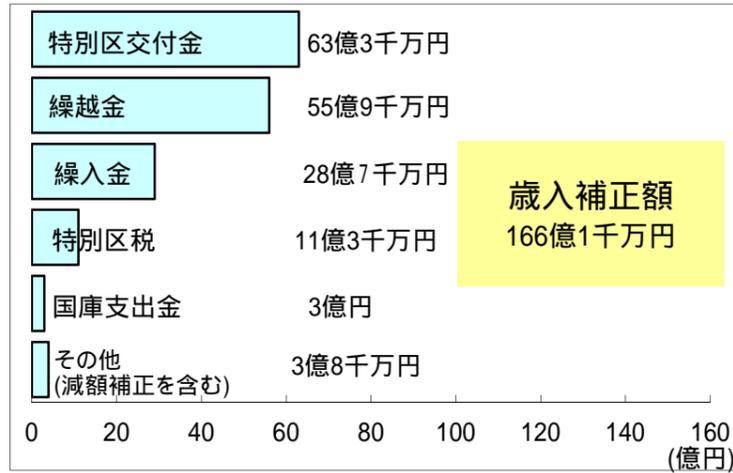
財政状況の公表（30年度下半期）概要版

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

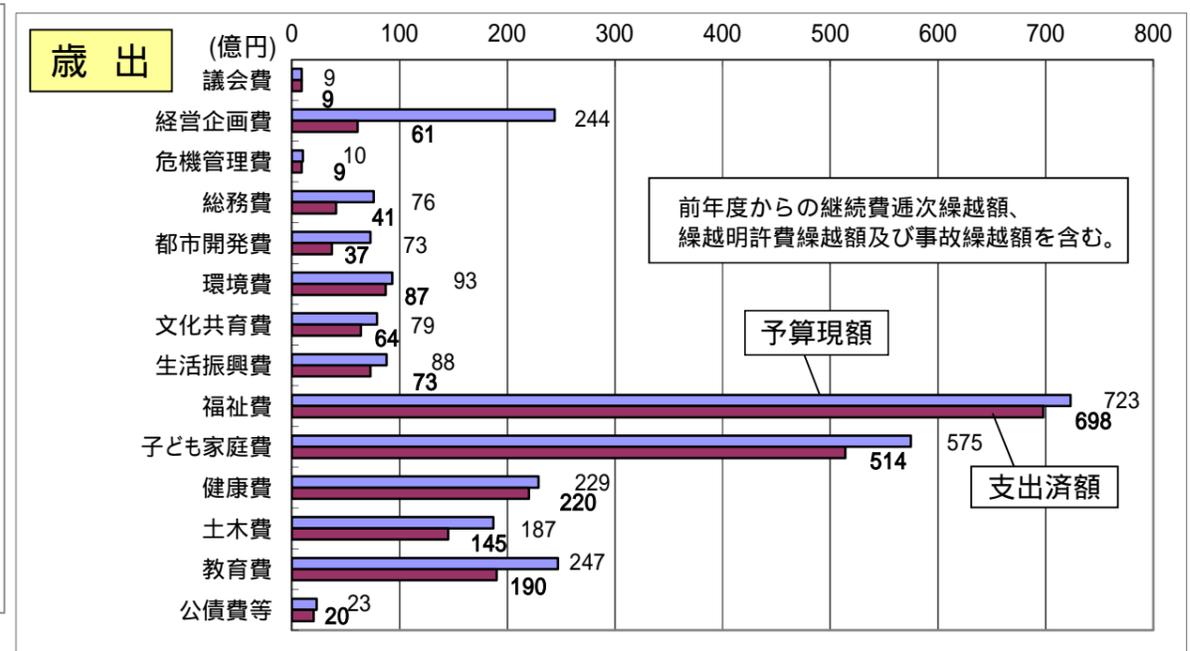
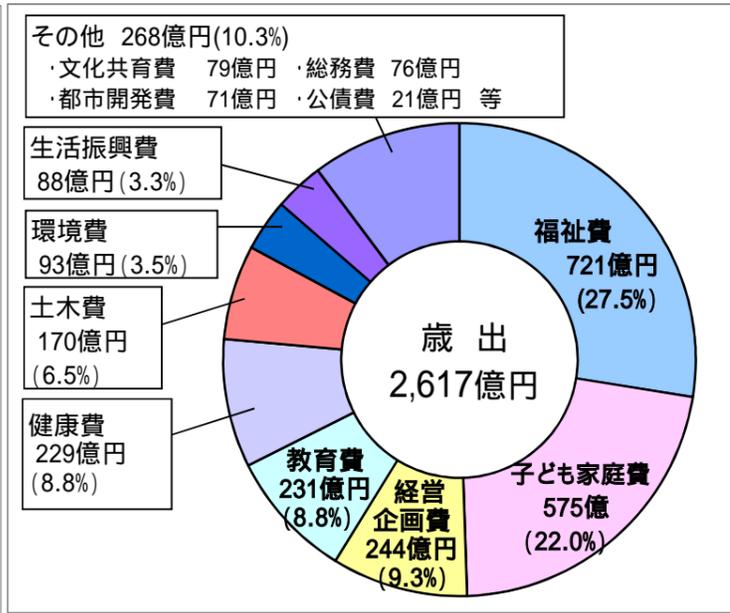
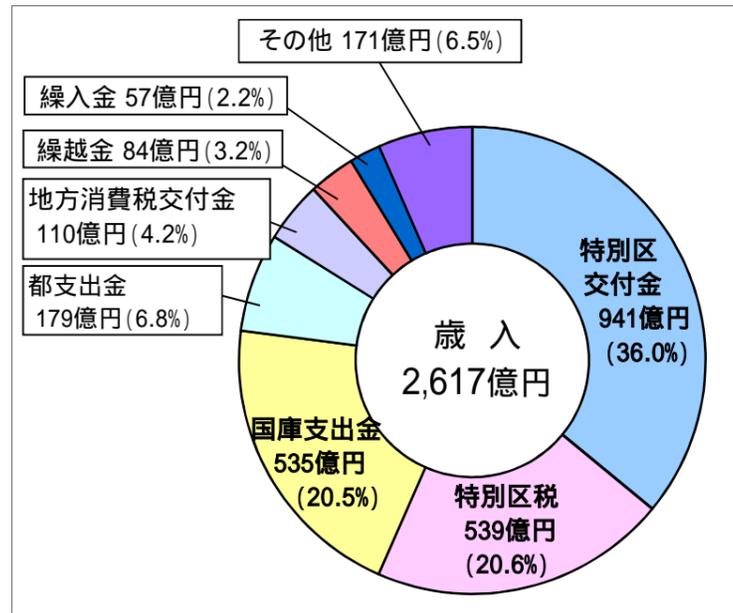
30年度補正予算（10月～3月）のあらまし 一般会計「2号～6号補正」の概要

30年度予算の執行状況

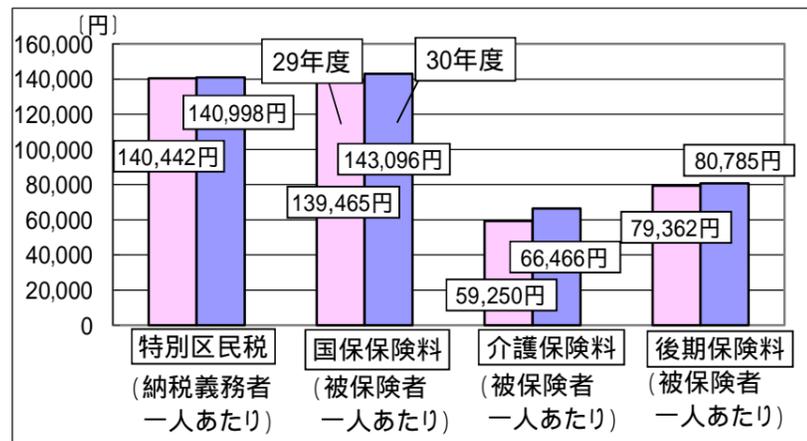
一般会計（平成31年 3月31日現在）



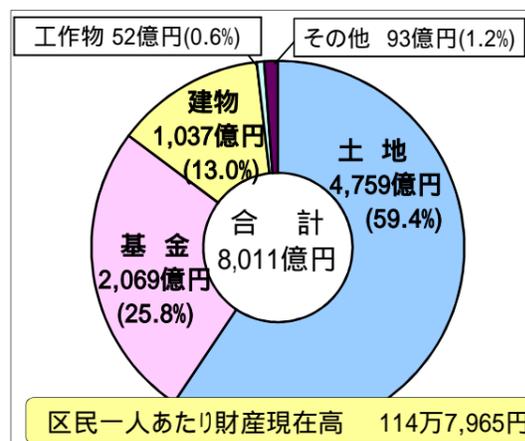
補正後の一般会計予算の構成



区民の負担概況（平成31年3月31日現在）



財産の現在高（平成31年3月31日現在）

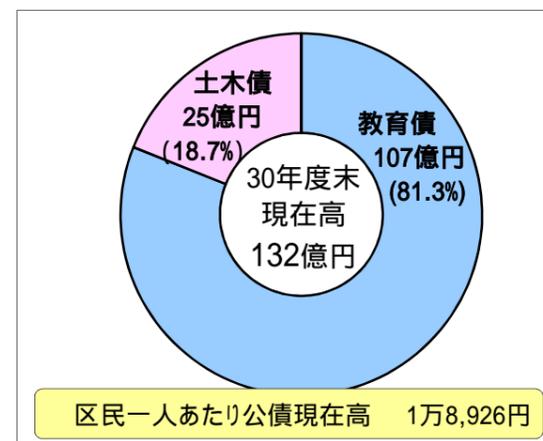


基金とは...

積立基金と運用基金の2種類があります。左の基金はこの2つの合計です。積立基金は、家計でいうと貯金です。災害発生時や老朽化した施設の改築等への備えで、3月末現在高は1,864億円です。運用基金は、一定額の基金を土地取得等のために運用するもので、205億円あります。

区民一人あたり財産現在高 114万7,965円

公債の現在高（平成30年度末現在高）



公債(区債)とは...

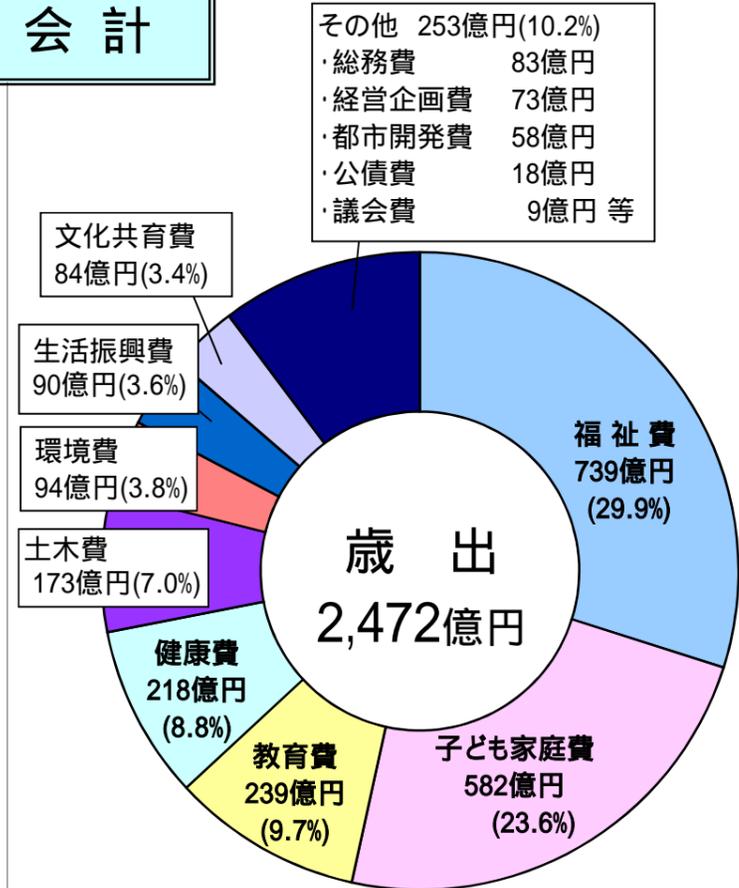
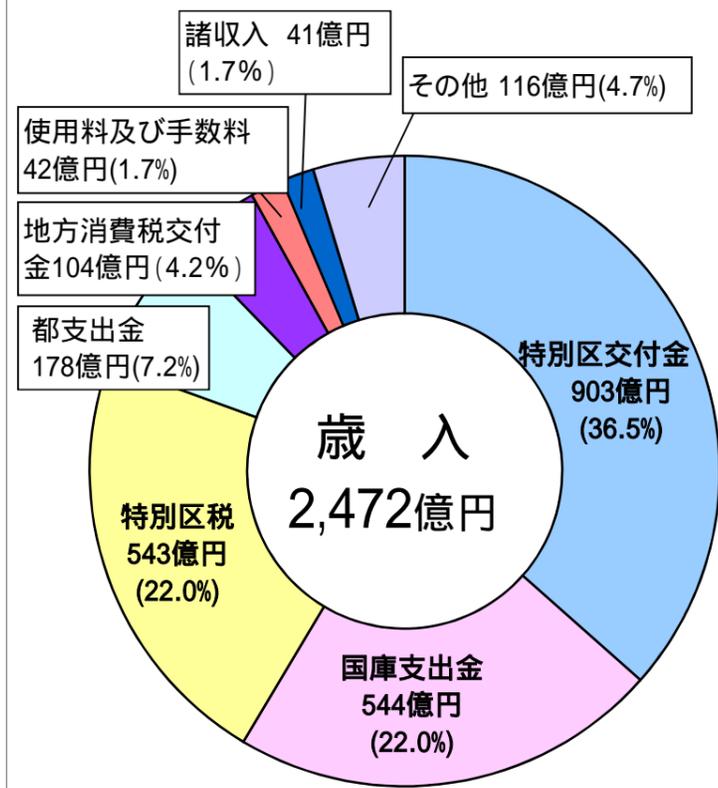
家計でいうと住宅ローンなどの借金です。道路整備や学校の改築など、いくつかの世代にわたって利用することのできる施設について、将来の区民の方々にもその費用の一部を負担していただくため、公債(区債)を借り入れ、負担の公平を図っています。

区民一人あたり公債現在高 1万8,926円

平成31年度 当初予算の概要

各計数は、原則として表示単位未満四捨五入のため、合計等に一致しないことがあります。

一般会計

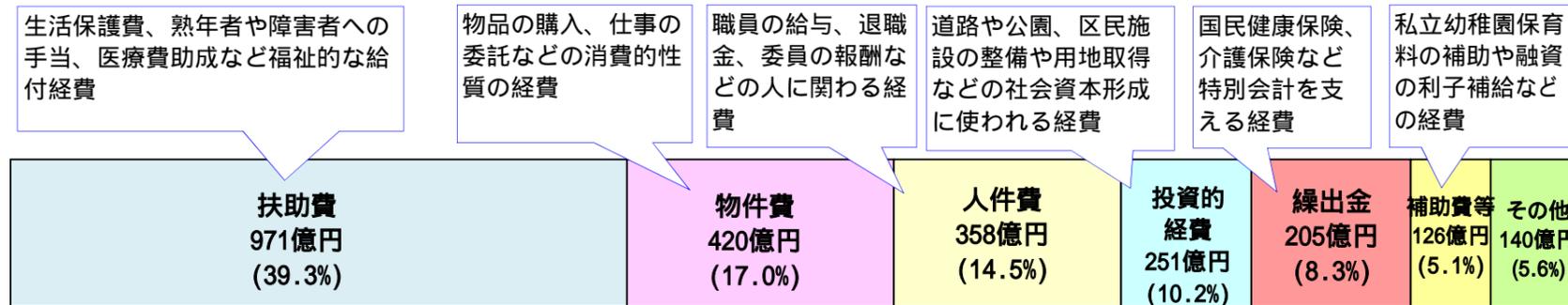


その他 253億円(10.2%)
 ・総務費 83億円
 ・経営企画費 73億円
 ・都市開発費 58億円
 ・公債費 18億円
 ・議会費 9億円 等

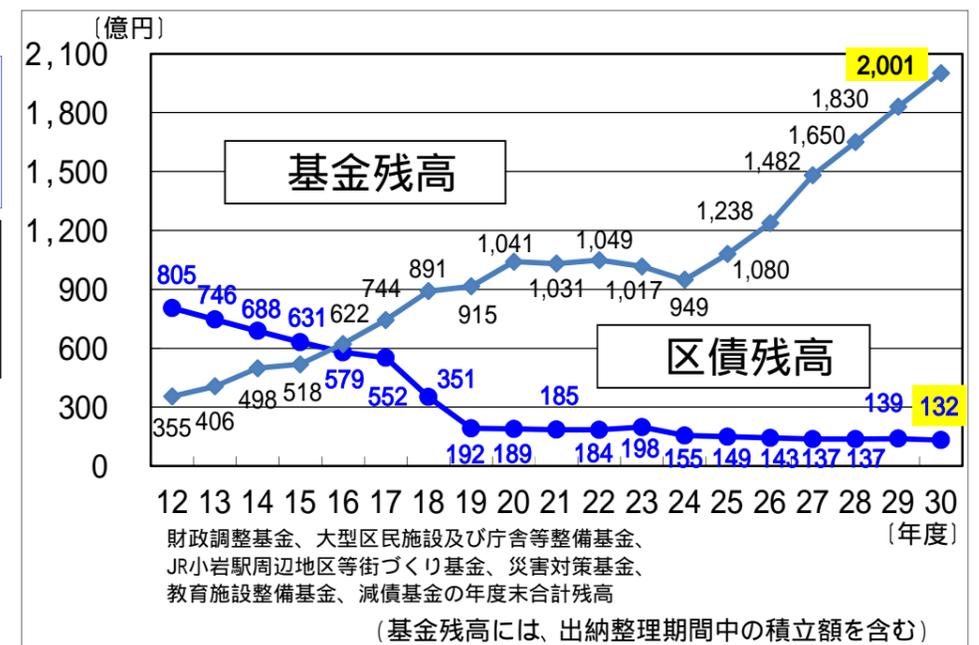
おもな新規・拡充・重点事業

- 新庁舎建設基本構想・基本計画策定 31年度予算額 < 2,665万円 >
 新庁舎建設に向けて、「新庁舎建設基本構想・基本計画」の策定支援業務を委託します。
- 学校法人による専門職大学設置構想 < 166万円 >
 地域活性化に資する学校法人による専門職大学設置構想を推進します。
- 児童文学館の建設構想 < 170万円 >
 国際アンデルセン賞(作家賞)受賞者である本区ゆかりの角野栄子氏の世界観を表現するとともに、文学の素晴らしさを発信する児童文学館の基本構想を策定します。
- 0歳児家庭サポート事業(よちよち応援隊) < 5,400万円 >
 保育サービスを利用していない10歳児の子どもがいる家庭に、54,000円を上限として家事支援サービスを提供します。
- 新左近川親水公園カヌー場の開設 < 3,198万円 >
 カヌースラローム場1面・カヌースプリント場1面・カヌーポロ場3面・多目的カヌー場1面を擁するカヌー場を開設し、運営業務を委託します。
- スクール・サポート・スタッフ < 3億3,097万円 >
 臨時職員を全校に配置して教員の業務全般を補助します。
- 水害ハザードマップの配布 < 1,492万円 >
 改訂後のハザードマップを全戸配布すると共に、外国語版(英語・中国語・韓国語)を作成して事務所等の窓口で配布します。
- 学校施設の改築 < 33億7,621万円 >
 「二之江小学校」「南小岩小学校」「篠崎小学校」「小岩第二中学校」「小松川第一中学校」「小岩小学校」「瑞江第三中学校」の学校改築を進めます。
- JR小岩駅北口地区市街地再開発事業 < 1億6,700万円 >
 再開発組合設立と共に権利変換に向けた合意形成を図り、測量・土地建物調査を実施します。

歳出の性質別内訳



区の職員数は、清掃事業が移管された12年度に5,057人まで増加しました。行財政改革などにより、13年度以降、減少し続けていましたが、児童相談所開設準備等のため31年度には3,743人となり、前年に比べ28人の増となりました。



区債残高は、18年度、19年度及び24年度に繰上償還を実施し、30年度末は132億円になりました。主要積立基金の残高は、「大型区民施設及び庁舎等整備基金」などへの積立により、30年度末では2,001億円に増加しました。